

平成29年度「吉田・飯塚・長瀬基金」調査研究事業 募集要項

社会福祉法人 北海道社会福祉協議会

1 趣旨

本助成事業は、高齢福祉や障害福祉、地域福祉などに関わる諸問題について、長期的展望にたつて総合的、実践的な調査研究を行い、その成果を公表し、もって道民福祉の向上に寄与することを目的として実施するものである。

2 申請者

申請者は、道内の個人・グループ等とし、大学・学校、研究機関、社会福祉施設、病院、民間団体（法人格の有無は問わない。）の職員など、本道の社会福祉の向上に関心のある者とする。

なお、原則として次のいずれにも該当するものとする。

- 1) 助成を申請する事業に対して、他の公的な助成(補助金等)を得ていないこと。
- 2) 過去に同一内容で旧(財)北海道高齢者問題研究協会の助成を受けていないこと。

3 助成内容

1) 助成金額

総額50万円以内(1申請につき25万円以内)

2) 助成対象経費

助成金については、調査研究に必要な直接経費とし、機械・器具等の備品購入費及び道外旅費は対象外とする。

3) 助成対象となる期間

平成29年6月1日から平成30年3月31日までに実施・完了(報告書提出)すること。

4 調査研究対象

対象領域については、北海道における先駆的・実践的な高齢・障害福祉等に関する諸問題の調査研究とする。主な対象領域については、次のとおりとする。

- ①『高齢福祉』に関すること。
- ②『障害福祉』に関すること。
- ③『児童福祉』に関すること。
- ④『地域福祉』に関すること。
- ⑤その他、本道の社会福祉に関すること。

5 申請方法等

(1) 応募者

調査研究者が複数の場合は、代表者をもって応募者とする。

(2) 申請方法

申請書類及び必要な添付書類を付して、平成29年4月17日(月)までに、事務局あてに送付すること(当日消印有効)。提出にあたって、様式2は電子媒体(CD-R、USB等)により提出するものとし、本会ホームページからダウンロードし作成すること。

また、様式1については、押印欄があるので押印された紙媒体も提出すること。

なお、様式2が紙媒体のみで提出された際は、受付できないので留意すること。

(3) 申請する際は、下記の書類を提出すること。

- ①様式1「申請書」 ※要押印、紙媒体提出
- ②様式2「吉田・飯塚・長瀬基金調査研究申請書」 ※電子媒体のみ提出

6 選考基準

助成決定を行う際、下記の点を選考基準とする。

- (1) 道内における先駆的、実験的な調査研究を優先する。
- (2) 過去3年間に本基金による助成を受けていない団体を優先する。
- (3) 他の助成等対象となっていない団体等を優先する。

7 助成の決定

北海道社会福祉総合基金運営委員会において選考の上、助成の可否を決定し、5月末日までに申請者に通知する。

8 助成金の交付

助成金の交付については、助成対象者決定後、概算払いをすることを原則とし指定口座へ交付する。

9 研究成果の公表

- (1) 調査研究成果報告書は、本会ホームページ等において公表する場合がある。
- (2) 研究成果を公表するときは、本会の事業（「吉田・飯塚・長瀬基金」助成事業）によるものであることを明示すること。
- (3) 研究成果については、本会が行う研修会等において発表を求める場合がある。

10 その他

調査研究完了後、調査研究成果報告書（研究論文）及び助成金の使途内容（領収書添付すること。）について、別途指定する実績報告書を提出すること。

提出された申請書類に事実と異なる記載があったときは、助成金交付後においても返還を求める場合がある。

(申請書送付先・事務局)

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目1 北海道社会福祉総合センター3階
社会福祉法人北海道社会福祉協議会 総務部企画課（助成事業担当 鹿野）
TEL 011-241-3976 FAX 011-251-3971
<http://www.dosyakyo.or.jp/>（助成申請書様式をダウンロードできます。）

※個人情報の保護について

本助成の申請に際しての個人情報については、当該助成の審査、並びに決定等の連絡、助成金の送金にのみ利用させていただきます。

なお、助成決定となった場合、団体名・代表者名、対象事業の概要、助成金額等を公表する場合がありますので、あらかじめ御了承ください。

～本会「吉田・飯塚・長瀬基金」調査研究事業について～

平成21年3月に財団法人北海道高齢者問題研究協会の解散に伴い、残余財産が本会に寄付されたことから、これを基に平成22年度より新たに「吉田・飯塚・長瀬基金」を北海道社会福祉総合基金に位置づけ、開始する助成事業である。

申請書記入要領

申請にあたっては、以下に留意し、様式2「吉田・飯塚・長瀬基金」調査研究申請書により必要事項を記入すること。

なお、各欄の記載にあたっては、省略することなく全項目記入すること。なお、様式記入欄が不足する場合等は、別途資料を添付すること。

●申請団体・組織の概略

1 申請団体に関する事項

- ・申請団体名 ……団体の正式名称、代表者氏名、フリガナを記入すること。
- ・住所 ……7桁の郵便番号、番地やビル名称など、省略せずに正確に住所を記入すること。
- ・電話・ファックス ……原則として団体の電話。代表者等の自宅の場合はその旨を明記すること。
- ・研究代表者氏名 ……本件に関する照会に回答できる責任者名、フリガナを記入すること。
- ・研究代表者連絡先 ……電話、ファックス、メールアドレスを記入すること。
- ・書類等の送付先 ……本件に関して確実に郵送される住所を記入すること。
- ・共同研究者 ……共同して調査研究を行う者の氏名、勤務先等を記入すること。

●申請事業の内容

1 調査研究課題

研究の目的、内容を的確に表すよう具体的で分かりやすい課題名(テーマ)を25字以内で記入すること。
なお、副題はこの字数に含まない。

2 申請する助成内容の区分

該当する調査対象領域一つに「○」を記入すること。

3 調査研究期間

開始と完了の期日を記入してください。当該年度の6月1日から3月末日までの期間内で設定すること。

4 助成申請金額

助成希望金額を記入(25万円以内)すること。

5 目的・研究方法等

- ・調査研究等の目的 ……研究の必要性とその背景が理解、把握できるように焦点を絞り、具体的に記入すること。
- ・調査研究の方法 ……研究の内容、方法、調査対象者(規模・地域)、調査実施期間、研究のシナリオ、研究の具体的な達成目標等について記入すること。
- ・申請調査研究の特色と高齢福祉や障害福祉等に寄与と思われる理由
……この調査研究によって、高齢福祉や障害福祉等に関するビジョンの提案、実践等に必要な基礎データ、情報、手法を提供できることになる(期待できる)など、その特徴、理由を記入すること。
- ・調査研究が次年度以降にもたらす効果や波及
……この調査研究の成果によって、次年度以降に地域や社会に影響を及ぼす効果などを記入すること。

6 当該年度他団体への申請の有無

平成29年度内に他団体への助成申請(申請予定・申請中・助成決定を含む。)をしている場合には、その団体名称及び助成申請事業名を記入すること。

7 助成内容の収支予算

申請事業全体における収入・支出金額とその内訳(単価・人数・回数等)を記入すること。

なお、備品購入費、道外旅費、食糧費(飲食代)については、助成対象とならないので、事業全体に含まれていても、その部分は除くこと。

また、科目欄は次の科目を参考に記載すること。

収入…助成金、会費、寄付金、自己資金等

支出…報償費、旅費、消耗品費、使用賃借料、通信運搬費、印刷製本費等

8 申請事業の活動計画

調査研究実施におけるスケジュールを月単位に記入(本まかでも可。)すること。

記入例

[様式1]

平成29年 月 日

社会福祉法人北海道社会福祉協議会長 様

ゴム印可、要押印。

住所

団体名

代表者名

平成29年度「吉田・飯塚・長瀬基金」調査研究申請書の提出について
このことについて、下記の文書を提出し申請いたします。

記

提出書類

- 「吉田・飯塚・長瀬基金」調査研究申請書（CD-R、USB等）
- その他

提出文書にレ点を記入。

その他については内容を明記する。

申請団体・申請者に関する事項	(フリガナ)	団体の正式名称、代表者氏名、フリガナ、団体の住所	(フリガナ)	代表者名
	団体名			
	団体住所	〒		
	電話	()		
	FAX			
	(フリガナ)	研究代表者の氏名、連絡先を記入	電話	()
	研究代表者		FAX	()
			メールアドレス	
	書類等の送付先	〒	確実に郵送される住所を記入	
	共同して調査研究を行う者（研究代表者は記入しないこと）			
	氏名（フリガナ）	勤務先名及び職名		
		具体的で分かりやすい課題名（テーマ）を 25 字以内で記入		
調査研究課題名				
申請する助成内容等の区分	<input type="checkbox"/> 「高齢福祉」に関すること <input type="checkbox"/> 「児童福祉」に関すること <input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> 「障害福祉」に関すること <input type="checkbox"/> 「地域福祉」に関すること	
調査研究期間	平成 年 月 日	～ 平成 年 月 日	1 申請につき 25 万円以内	
助成申請金額	金	円		
調査研究事業の内容	調査研究等の目的			
	研究の必要性とその背景が理解、把握できるように焦点を絞り、具体的に記入			
	調査研究の方法（特に調査方法、調査対象者・規模・地域、調査実施期間は具代的に記載し、収支予算との関連が明らかになるようにすること）			
	研究の内容、研究の方法、調査対象者（規模・地域）、研究のシナリオ、研究の具体的な達成目標等について記入			
目的・研究方法等（具代的に記載すること）	申請調査研究の特色と高齢福祉や障害福祉等に寄与と思われる理由			
	調査研究によって、高齢福祉や障害福祉等に関する基礎データ、情報、手法など、実践等に必要成果について、具代的に記入			
	調査研究が次年度以降にもたらす効果や波及			
	調査研究を行うことにより、地域や本道の社会福祉にもたらす効果や波及について記入			
当該年度他団体への助成申請の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	他助成団体名	
			助成申請件名	

申請事業の内容	助成金内容の収支予算	収入の部		
		科目	金額	内容
		助成金	250,000	吉田・飯塚・長瀬基金より
		自己資金	100,000	当会・グループ負担
		科目名については、申請書記入要領「●申請事業の内容 7. 助成内容の収支予算」を参照		
		内訳欄に科目に対する詳細を記入		
		合計	350,000	
		支出の部		
	科目	金額	内容	
	旅費交通費	55,000	調査旅費（委員）	
	使用賃借料	48,000	委員会会場代	
	印刷製本費	90,000	調査用紙、資料等	
	通信運搬費	70,000	切手、宅配便代	
	消耗品	37,000	コピー用紙、事務用品代	
	諸謝金	50,000	委員謝礼10,000×5名	
	合計	350,000		
年間スケジュール等	年間スケジュール	具体的な活動内容（委員会の開催、調査の実施時期など）		
	助成金受領後の事業の着手から完了までのスケジュールを月単位に記入すること			
指定添付書類	<input type="checkbox"/> 様式1 <input type="checkbox"/> その他 []			

右欄には記入
しないでください

受付 月日	審査内容	採 否
----------	------	--------

[様式1]

平成29年 月 日

社会福祉法人北海道社会福祉協議会長 様

住所

団体名

代表者名

平成29年度「吉田・飯塚・長瀬基金」調査研究申請書の提出について
このことについて、下記の書類を提出し申請いたします。

記

提出書類

- 「吉田・飯塚・長瀬基金」調査研究申請書 (CD-R、USB等)
- その他 ()

申請団体等・組織の概要	(フリガナ)		(フリガナ)		
	団体名		代表者名		
	団体住所	〒			
	電話	()			
	FAX	()			
	(フリガナ)		電話	()	
	研究代表者		FAX	()	
			メールアドレス		
	書類等の送付先	〒			
	共同して調査研究を行う者（研究代表者は記入しないこと）				
	氏名（フリガナ）	勤務先名及び職名			
調査研究事業の内容	調査研究課題名				
	申請する助成内容等の区分	<input type="checkbox"/> 「高齢福祉」に関すること <input type="checkbox"/> 「児童福祉」に関すること <input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> 「障害福祉」に関すること <input type="checkbox"/> 「地域福祉」に関すること	
	調査研究期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日			
	助成申請金額	金 円			
	目的・研究方法等（具代的に記載すること）	調査研究等の目的			
		調査研究の方法（特に調査方法、調査対象者・規模・地域、調査実施期間は具代的に記載し、収支予算との関連が明らかになるようにすること）			
		申請調査研究の特色と高齢福祉や障害福祉等に寄与と思われる理由			
		調査研究が次年度以降にもたらす効果や波及			
	当該年度他団体への助成申請の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		他助成団体名	
				助成申請件名	

